

20230926記者派遣授業
愛徳学園中学校 中3
振り返りと気づき(感想)
参加者26名分

20230926振り返りと気付き

私は新聞記者の人の話を聞いて、戦争や原爆について色々な話を聞きました修学旅行で行く広島に落ちた原爆の話も聞きました広島で亡くなった人は約14万人の人が亡くなったことについてびっくりしました。

他にも兵庫県の姫路でおきた姫路空襲や神戸でおきた神戸空襲についてもたくさんのお話聞いて兵庫県でも空襲があったことにびっくりしました。

なので戦争は絶対してはだめだとおもいました

20230926振り返りと気付き

お話を聞いて沢山のことをこの50分間で学ぶことができました。

私は広島原爆のことについては小学五年生の時に広島に行って平和について学んだりしていたのである程度のことを知っていたのですが、神戸空襲や姫路空襲があるとは知らなくて、他のところでも空襲があったのだとわかり、びっくりしました。神戸空襲では学校の近くの垂水や灘区などよく知っている場所が空襲によって壊滅してしまったことがとても想像がつきませんでした。この神戸空襲でも沢山の人が被害にあってとても苦しい思いをしたんだなと思うと胸が苦しくなりました。ジブリ映画の「火垂るの墓」を見るといつも泣いてしまい。映画のような状況が当時の姿だったのだなと思いました。そして、空襲などで親を亡くした戦争孤児の子達はどんな思いで暮らしていたのだろう、またどのように過ごしていたのだろうと疑問に思いました。やっぱり親がいない寂しさや苦しさそして戦争がよくない、あってはならないと思っていたのではないかなと思いました。ウクライナとロシアとの戦争が一年七ヶ月持たてしまっていることにすごく驚いています。私はウクライナとロシアが戦争し始めたのはほんの最近だと思っていたので、一年も経っていたんだと思いました。ウクライナの人々がとても苦しい思いをしていて町も壊されたりと沢山の被害を受けていて、時々テレビでウクライナの状況を見てるととてもひどいなと感じました。一刻も早くこの戦争が終わって欲しいなと思っています。

戦争はあってはならないことで起こしてはいけないことです。この先平和になるためにどれだけの時間がかかるのでしょうか。平和になるためには国同士が仲良くしないといけない、そのためにも沢山の国の人と関わっていくことが大切なのではないかと思います。広島のことから78年も経って今も語り継がれていることをつなげていくためにも今回の修学旅行で沢山のことを学び、平和について考えていけたらいいなと思います。本当にとても貴重な時間をいただき、私たちに広島のことについて教えていただきとても嬉しかったです。

20230926振り返りと気付き

今日は、記者の方に来ていただき広島や戦争についてお話を聞きました。私は、神戸空襲や姫路空襲、東西冷戦などについて全く知らなかったのですが、今日の話でたくさん知ることができました。

特に私は、神戸空襲と姫路空襲がとても印象に残っています。なぜなら自分が住んでいる近くの地域で戦争が起こっていたからです。両方とも大きな被害だったと思うのですが、姫路空襲では姫路城だけが残っていたと知ってすごいなと思いました。姫路城に網のようなものをかけていたらしく、そのあとがまだ残っていたりしていると聞き次行く機会があればそこも注意深くみてみたいなと思いました。

今日学んだことをしっかりと頭に入れて修学旅行に行きたいと思いました。

私は今日のお話を聞いて、原爆と聞いたらどうしても広島や長崎を思い浮かべますが、神戸、姫路、明石など自分の住む地域にもたくさんの被害があったことを知って驚きました。広島に行った時はもちろん、たくさんの展示物にふれ、当時のことについて学びたいと思いますが、自分の身近にある神戸などにある平和の碑も見に行ってみたくてです。また、原爆は一回だけではなく、数えきれないほど落とされたということを知り、戦争の悲惨さを知りました。当時生活していた方々は、とても頻りに怖い物体が落ちてくるという中で生活していたと考えると、考えただけでもとても胸が痛くなります。あまり言われていない神戸空襲でも、被害が小さかったわけではなくたくさんの死者がいてたくさんの被害を受けていたことを知りました。

被爆された方は、被爆したその時の痛みだけではなく、今後生きていく上で後遺症が残ったり、その恐ろしい経験と共に生きて行かなければならないので本当に大変だと思います。そんな経験を私たちの世代にまで伝えてくださる方々に感謝の気持ちでいっぱいです

今、ロシアのウクライナ侵攻が続いていますが、自分には関係ないと思うのではなく、もっと身近に感じて平和を築いて行きたいです。

今この時代を生きられていることを奇跡だと思いながら、今後過ごして行きたいです。

20230926振り返りと気付き

今日は5時間目に新聞記者の方が来て原爆のことを話してくれました。
空襲体験が反映されているジブリの「火垂るの墓」という作品は妹思いのお兄ちゃんが助けようとするために行動しているところに感動しました。
広島では約14万人長崎で約7万4千人の人が被害にあってることを知りました。
原爆が落とさせると一瞬で家が崩れたりするのが怖いなと改めて思いました。
よくニュースでウクライナの戦争のことをしていたのに最近は見なくなったので、あれから1年が経ったんだなと思いました。
その戦争ではたくさん大切な、いのちが奪われて家族や友達を失う人がいるのではやく終わってほしいなと思いました。
これからも戦争が起こるのかと思うだけで怖くなります。
もう2度と戦争というものが起こらないといいなと思いました。

20230926振り返りと気付き

今日は新聞記者さんが戦争について話をしてくれました。話を聞いて、戦争は二度とあってはならないものだなと思いました。

原爆の被害にあって亡くなってしまった人は、広島は約14万人、長崎は約7万人ですごく多くの人が亡くなっていて原爆は本当に恐ろしいなと改めて思いました。原爆は建物などが吹っ飛び、一瞬にしてあたり一面をさらちにしてしまうほどの破壊力があるなんてとても怖いなと思いました。

特に印象に残っていることは、神戸空襲と姫路空襲です。今住んでいる神戸や近くの姫路が空襲にあったなんて想像したくないなと思いました。空襲体験が反映されている「火垂るの墓」というジブリの作品で、私はみたことがないけど戦争の事について学べる良い作品だなと思いました。私も今度みてみようとも思いました。

今回の話を聞いてなぜ戦争はなくなるのかなと思いました。ロシアとウクライナのように今も続いている戦争もあってたくさんの人たちが亡くなっていて、でも私には何もできないなと悲しくなりました。戦争をしてしまったら人がたくさん亡くなるので戦争をしても何もいいことはないと思います。本当にはやく終わってほしいです。これ以上家族や友達を失う人が増えたらダメだなと思いました。戦争について考えられる機会があってよかったです。

20230926振り返りと気付き

今回の話を聞いて、1番印象に残ったところは金井正彦さんのお話です。

お母さんと一緒に隠れていたらお母さんの腰のあたりに銃が貫通して運ばれていくお母さんのことを叫びながらみていたというところを読んで、その時の情景を想像するととても悲惨で胸が苦しくなりました。

まだ子供なのにお母さんが真横で銃に撃たれて私だったら一生の心の傷になって生きていけないかもしれないと思いました。

また、燃え盛る炎の中で黒く動くものがあれば、それは必ず火にまかれた人だったと書いてある文を読んでその火に飲み込まれた人はどんなに辛かったか、それを見た自分はどれだけ心が痛かったか、戦争をしても良いことはひとつもなく、ただ傷を残すことしかできないと思いました。

今ロシアとウクライナで戦争が起こっていますが、この何度も犯してきた過ちをなぜ反省せず再び犯しているのか、とても疑問に思いました。

戦争をしてしまう理由はお互いのすれ違いにあり、私の中では喧嘩のように感じます。

なら口論でお互いが納得するまで考え続ければ良いと思うのに、どうして気持ちが抑えきれずに何も悪くない幸せな人々の命をなくしてまで攻撃しようとするのか、大人の人々の心の弱さ、未熟さに呆れました。

戦争を無くそうと言っているのに今してしまったら、ここ最近で生まれてきた子供は戦争はやっても良いものなんだという思考で育ててしまうかもしれない。戦争はだめだと何回言ったって大人がしているのにどうしてしたらいけないの？と考えてしまうと思います。子供は純粹で戦争なんてそもそも知らなくても良いものだと思うのに無理矢理知らされてしまうことは絶対にあってはならないことだと思います。しっかりと生きていくうちに喧嘩はしてはいけないと教わるからです。幼稚園から学校でも争い事はいけないとずっと教えられてきています。その積み重ねで戦争なんてもってのほかだと言う考え方でみんな生きられると思っています。でも今の大人たちは戦争をしてしまっている、そんな許すと言うこともできないなんて恥ずかしいことだと思いました。

意見がすれ違えば戦争をすれば良いんだという思考の子供達が増えたら未来の地球はどうなるのか。実際に被爆者からのお話を直接聞ける最後の年代と言われている私達が、今の子供達、これから生まれてくる子供たちに戦争は絶対にしてはいけない過ちだということを教えていかないといけないと強く思いました。今まで語り継いでくれた方々、被爆者の方々の気持ちを担って、私たちが未来を変えていきたいです。

今回沢山のことを考えることができました。貴重なお話をありがとうございました。

20230926振り返りと気付き

三好記者の話を聞いて私が感じたことは、戦争の怖さです。

戦争とは、街を壊し人や自然すべてのものを傷つけるものということ三好記者のお話の中で改めて痛感しました。戦争を経験していない人が戦争を知りそれをまた戦争を知らないひとに伝える大切さについて私たちに伝えるためにとっても貴重な戦争当時の写真をたくさん見せてくださったりみよし記者ご自身のお祖父様のお話や今まで自分が仕事をしてきた中で学んできたことをたくさん教えてくださり、私も戦争についてよく知ることができました。三好記者のお話の中で私が特に驚いたのは戦争孤児についてです。戦争によって親を亡くしてしまった子供がいるというのは知っていましたが、みよし記者のお話で出てきた戦争孤児のお話は私が想像したよりももっと壮絶なものでとてもびっくりしました。戦争で親を亡くしてしまった子供たちはさまざまなところに保護されて今の私たちのほどは行かないけど楽しく暮らせていると少しでも思っていた自分がとても恥ずかしくなりました。とても小さな女の子を働かないといけないという今では考えられない状況でただでさえ親を戦争に奪われとても辛く悲しいはずなのに追い討ちをかけるように身を粉にして働かないといけないそれはどれだけ辛いことなのか私には想像もつきません。今の私たちの普通の生活がどれだけ恵まれていて幸せかそして今の生活にどれだけ感謝をしてこれからを過ごしていかないといけないかということを考えていかないといけないなと思いました。

原爆が落とされる前と落とされた後の写真もを見せていただいた時も本当にびっくりしました。

どれだけ一瞬にしてこんなに綺麗な街並みが崩れてしまったのか想像もつきませんでした。原爆が落とされた後の写真はとても衝撃的なものでこれからの未来どんな状況にあっても原爆を落としてはいけないそうひどく思える写真でした。

戦争がどれだけいけないか、またなぜ戦争をしてはいけないか、なぜ原爆や戦争を後世に伝えていかなくてはいけないのかそのようなことをみよし記者のお話の中で知ることができ、また自分の中でも様々なことが変わったのでとても光栄なお話でした。

20230926振り返りと気付き

修学旅行への事前学習として、新聞記者の方のお話を聞きました。広島、長崎に原爆が落とされたことについてはよく知っていましたが、私たちが住んでいるこの神戸や明石、姫路にも原爆が投下されたことについて詳しく知ることができました。私も『火垂るの墓』を小さい時に見たことがあります。ですがまだ戦争や原爆について詳しく知りませんでした。たくさん学んだ今、戦争孤児の物語を見るととても胸が苦しくなると思います。そして今もなお続いているロシアとウクライナの戦争が早く終わって欲しいと思いました。もしこのまま続いて状況が酷くなり、ロシアが核を使うなんてことがあったらとても大変だなと思いました。もう核というものを無くしてしまっただけで世界が平和になればいいなと思います。私は何度か西新町駅を利用したことがあり、その時に近くにある慰霊碑を見ました。被爆経験のない私にはわからない辛さや苦しさを感じた人たちがいる中私たちには何ができるのかと考えました。被爆者の方が言うように私たちが次の世代にもずっとずっと原爆の怖さを伝えて行きたいと思いました。伝えていくことで平和への道が1歩ずつでも進めばいいなと思います。修学旅行で広島へ行き、平和と深く向き合いたいです。とても貴重な体験が出来ました。

20230926振り返りと気付き

今日はお話ししに来て下さりありがとうございました。私は小学5年生の時に広島に行きました。小学5年生の時私は原爆資料館の人の人形や薄暗さが怖くてずっと泣いていたので広島は怖いと言うイメージがあったので今回のお話を聞くのがとても不安でしたが、中学3年生の今ヒロシマについて学ぶとより深く知りたいと思うようになりました。今日のお話の中で私は日本の中の戦争についてはよく分かっていましたが世界に目を向けるとあまり知らない事が多かったのでこれからは自分でも世界の歴史について知りたいと思いました。戦争孤児の話では特に心が痛みました。私は14歳なのでそれよりも年齢が下の子供が集団疎開して帰ってきたら自分が知っていた、好きだったヒロシマが無くなっていて、お母さんお父さん妹弟お姉ちゃんお兄ちゃんがいなくなっていたら言葉では表せないほど悲しいと思うので戦争孤児の心の痛さを知りました。今回ヒロシマに行って4年ぶりに資料館に行きますが、今はヒロシマの原爆について知りたい、知識が欲しい、伝えていきたい、という思いが強いので、資料館で被爆者の気持ちを受け止めて沢山質問をして良い学びになるようにしたいです

20230926振り返りと気付き

一番印象に残っているお話は、神戸が襲撃された時の会話です。

なぜなら、神戸は私の出身地でもあり、

私が愛した場所だからです。

神戸は、何人の人が亡くなって、何回も爆弾が繰り返された。

同じ過ちを繰り返さない為にも、

私達がなぜ戦争がおきたのかという原因を追求したいです。

そして、自分の出来る背一杯で、皆の役にたって、守り続けたいです。

私は、自分の幸せの為だけでなく、世界中の人達の為になる仕事に就きたいです。

神戸市が2番目に、親を失っている人の数が多いと聴いて、びっくりした。

その中には、幼い子供も居て、働かないと生きていけない子供もいた。と

知って本当に戦争は今までの幸せな生活を全て壊す誰もがされたら嫌な事

ランキングNo.1。

だから、皆が見て幸せを感じられる私でありたいと

今日の授業を受けて、思いました。

戦争爆弾の中でも一番威力があるとされているのが新型爆弾でその威力はほぼ広い範囲で火の海に

出来るぐらいの破壊力だと知った時、本当に、ビビったし、

鳥肌が立ちました。将来は、爆弾解除や宝箱を解除出来る人になりたい。

もしこれが出来たら、正直個人的に有能な人だと思う。

20230926振り返りと気付き

今日の修学旅行事前学習では、広島原爆や戦争についての話を聞きました。自分が知らなかった戦争の話や実際の当時の写真を見て、一瞬で街が消え、人が亡くなったと考えると本当に怖かったです。広島原爆が落とされた時、亡くなった方が約14万人と知った時は驚きました。また、長崎では約7万人の方が亡くなり、約20万人の方々が原爆によって命を失われたという事実を知って驚くことしかできませんでした。

去年の2月から始まったロシアによるウクライナ侵攻から約1年7ヶ月になりました。私が初めて、ロシアとウクライナの戦争が始まったと聞いた時に思ったことは、なんで人は武器を使ってでも戦争をするのかなと思いました。戦争ではなく話し合いという手段があるのに、また、長崎とか広島と同じことがあったら、どうなるのかと今も不安です。やっぱり、今戦争をするということは、今まであった被害や亡くなった人たちを忘れてるように思います。

私が今暮らしている神戸も昔空襲があったということは聞いたことがありましたが、具体的なことを知ったのは今日が初めてでした。私が知っていたことは、あたり一面が焼け野原になったことだけで、新しく知ったことは繰り返しされる空襲によって約8000人の方々が亡くなりました。当時の焼け野原になった神戸の写真を見たときは、家が少しあるぐらいでかなり変わっていました。ここから、今の神戸になるまで時間もかかっただろうし、心の傷を癒すためにも1人1人の協力が必要だったのだと思いました。あのジブリで有名な「火垂るの墓」は6月5日の空襲体験が反映されていることも今日知りました。よく小さい頃に見ていたので、これを機にもう一度見てみようと思います。

この神戸空襲でどうな被害があったのか、何があったのか、と知らないことが多くあったので、次は私たちが知っていかないといけないと思いました。もし、今日の機会がなかったら、私はもう知る機会がなかったかもしれないし、とても今日は自分にとって本当に良い体験でした。親からも聞いている話もありますが、現場に実際に行っている新聞の記者の人が感じたもの、実際にあったことを直接聞けてよかったです。改めて、戦争の恐ろしさを感じ、もう、戦争がなくなっほしい、と今日はとても強く思いました。戦争でたくさんの方が亡くなり、戦争によって涙を流す人がいない世界になって欲しいです。

今回お話していただきありがとうございました。
知らないことを知れていい機会でした。
祖父や祖母たちは、まだ幼かったので
覚えていないということだったので
いろんなことを知れてよかったです。
そして、合計21万人が原子爆弾で、
亡くなってしまい、たくさんの人が苦しい思いをしたのが分
かりました。
明石でも空襲があったということが
印象に残りました。
なぜかというと父方の祖父の昔からある家が
明石にあるからです。
そのほかにも
たくさんの話が印象に残りました。
たくさんの話を話してくださりありがとうございました。
とてもたくさんの話を聞くことができたのでよかったです。

私は今回の事前学習を通して、平和への意欲・関心が今を生きる私たちにとってなによりも大切だということに改めて気づきました。長崎、広島の有名な話から私の身近な神戸や姫路についての知らない話まで事細かにわかりやすく説明していただきました。私が今回していただいたお話の中で1番驚いたのは、神戸空襲と姫路空襲のことです。両方の地域に空襲があったということは前からの知識で知ってはいましたが私が驚いたのは被害の全容についてです。たくさんの方が亡くなったのはもちろん、焼夷弾が用いられていたこと、機銃掃射が行われていたことは全くの想定外で、その流れ弾などによりついさっきまで隣にいた人が地面に倒れているという光景は今を生きる私にとっては想像ができないほどの恐怖と絶望だと思います。また、火垂るの墓についてはなかなか見る勇気が出ずにずっと先送りにしていました。全く妥協がなく描かれているためその生々しさに目を背けなくなるような現実があることを知っているからです。でも今回のお話を聞いて、私たちの世代が実際被爆した人の話を聞ける最後の世代になるかもしれないことを感じて過去にあった現実を受け止める、そして未来に繋げていくことが大切なんだと思いました。小学生の頃に長崎に行ったので原爆のことについて学ぶ機会はありましたが中3になって改めて深いことまで聞くうちに今ある平和はいつまでも続かないかもしれない、だから未来を担う私たちが学べるうちに学んでおくことが今できることだと思います。空襲警報の恐怖感や空襲が起きた直後姫路城が残っていた感動、親兄弟を探し回る人の声などは全く考えられなけれど数十年前の日本で実際に起きた悲劇であることをしっかりと心に留めておきたいです。今ある日本のために戦った特攻隊の方や当船員、また無差別に亡くなった方々のことを忘れることなく1分1秒を大切にしていきたいと心に強く思いました。現代でも世界では戦争、内戦が続いています。一刻も早く戦争がなくなり犠牲になられる方が減るように自分ができることを少しずつ着実に進めていきたいと思っています。今ある生活の幸せを自覚して感謝の気持ちを持つことは簡単なことではないけれど1日1日に1つでも幸せだと思える理由を探していつかそれが当たり前前に感謝できるようになればいいなと思っています。そして、修学旅行で訪れる広島では今日聞いたお話を活かしつつ、有意義な時間にできるように積極性を持ち、たくさんを知り学んで帰ってくるのができたらいいなと思っています。

20230926振り返りと気付き

今回新聞記者の方に原爆や戦争の話聞き、私たちの修学旅行先の広島についてもより深く知る事ができました。現在、戦争を実際に体験した世代の方も段々少なくなってきた、戦争について詳しく知る機会もあまり無かったので、今回改めて戦争について考える事ができたのでよかったです。

私は戦争と聞けば原爆が落ちた広島や長崎を思い浮かべましたが、私が住んでいる神戸にも空襲があり、甚大な被害が出たことを知り、日本各地で色々な場所が壊され、沢山の方が亡くなっていたんだと感じました。1945年にやっと戦争が終わりましたが、被爆地や襲撃された土地の復興や、戦争孤児の問題があるという事も知りました。まだ小学生程の年齢の子供が1人で生きるというのはとても辛かっただろうし、心細かったと思います。戦争というものは壊された土地や亡くなった方々だけではなく、終戦しても苦しんでいる人々がいると知って、戦争で得るものは何も無いと感じました。

今ロシアとウクライナで戦争が起こっていますが、ニュースなどで見る程度で、戦争に巻き込まれている両国の一般市民の人達の現状や、この戦争による損害についても分かっていない事が多かったです。私達は戦争に関係していないから知らなくてもいいという考えではなく、関わっていないからこそ戦争の事をよく知り、自分にできることを考えたいと思いました。

20230926振り返りと気付き

今日の先生の話聞いて、自分が住んでる神戸や明石の戦時中の姿を知れました。いつも修学旅行前の事前学習では原爆のことや、原爆を落とされた広島や長崎のことにしか触れていなかったのも、自分が暮らしてる明石や近くの神戸、姫路の歴史について少し学べました。自分と歳の近い子供たちが両親を戦争で亡くして、「戦争孤児」として靴磨きの仕事をしてお金を稼いだり、「火垂るの墓」の清太や節子みたいに栄養失調で衰弱死してしまうという悲惨なことが神戸の街におこっていたのを知ってショックを受けました。実際、清太が亡くなった場所もJR三宮駅の中央口だったので、自分がいつも何気なく歩いているところで、苦しい思いをして亡くなった子どもたちが多かったんだと思うと、とても悲しかったです。私はいつも山陽電車を使って学校まで行っているのですが、最寄り駅が「西新町」なんです。先生のお話から私がいつもつかってる西新町の名前がでたときはびっくりしました。でも、私はその「空爆犠牲者の碑」を見たことがなかったんです。というか初めて知りました。なので、自分で一回インターネットなどを使って調べたり、お父さんやお母さんから話を聞いたりしました。二人ともこの近くにそんな碑があるなんて知らなかったみたいで、今度みんなで見に行こうと話になりました。

私は、これ以上戦争を起こさないために私たちの世代が親の世代から引き継いできた、戦争の話を糧に二度と同じ悲劇を起こさないようにしたいです。今日、先生から聞いたお話はちゃんと心に受け止めて、今後のために活かしたいと思います。

20230926振り返りと気付き

今回の新聞記者の方の話を聴き、戦争についてより詳しく知れました。修学旅行の事前学習は他の授業でも少ししていますが、その授業では知れないような事について今回よく学びました。まず兵庫の空襲についてあまり聞いたことがありませんでした。戦争でよく聞くのは核爆弾を落とされた広島、長崎と、東京大空襲についてよく聞くので兵庫の空襲について初めて聴きました。兵庫のほとんどが焼き焦げたなど想像がつきません。ジブリの火垂るの墓はじっくり見たことはありませんが、小学校の頃に学校で少し見てかなり怖くて記憶に残っています。妹の節子がドロップと間違えておはじきを食べってしまったところとその後三宮の駅でお兄ちゃんが亡くなってしまおうところがとても残酷なところだと思いました。見た時は低学年だったので、あまり物語の中の大切なところに気づかなかったので、一度ちゃんと見てみようと思いました。姫路の空襲で、これから姫路が空襲される可能性がある、などがラジオで流れて、その当時の姫路の人々はとても怖かっただろうなと思います。しかも空襲は夜だと聞いたので、戦争の時は街灯がなく、暗い中逃げて、大変だし怖いなと思いました。戦争の時は子供も働いたり、遊ぶ時間も無いしお腹いっぱいご飯を食べられないので辛かっただろうなと感じました。

20230926振り返りと気付き

今日のお話の中で私が特に印象に残っている内容は播但線の電車のことです。車内が血の海になるなんて今の私たちには想像もつかないことですが、それだけ私たちは平和な人生を送ってきたのだと改めて気付かされました。戦争は悲しいことばかり生み出していると感じたので、これから生きていく私たちは戦争を起こさず、歴史を繰り返さないようにしていきたいです。そしてこれまでの戦争や今起こっているウクライナとロシアの戦争を忘れずに生きていきたいです。

20230926振り返りと気付き

今日は新聞記者の方に戦争について教えていただきました。今、ウクライナとロシアの間で戦争が起こっています。私は、ニュースで見るたびに自分には関係ない事と思っていました。ですが、過去に日本でも広島と長崎に原爆が落とされました。そして、神戸や姫路などの身近な場所でも空襲があり、そこでたくさんの方が命を落としました。今でもそのことを伝える戦争遺跡が残っています。この話を聞いて戦争は自分に関係のない物ではないということに気づきました。戦争は本当に起こってはいけないものだと思います。修学旅行では今日話していただいたこと、考えたことなどを忘れずに平和について学びたいです。

今日の戦争についての話は、とても怖かったです。

- 戦争というのは、とても怖いもんなんやな。

となんとなくしか前の自分は興味を持ちませんでした。

でも今回は、色々聞き、姫路空襲や神戸空襲があった事を知り、

- こども一度は、爆弾を落としていたんだ

と改めて怖くなりました。

今では、ウクライナ戦争があり、人々が次々にやられます。

なぜ、人々は戦争を起こしたくないのに、戦争をするのだろうか？

と疑問に思いました。

修学旅行で広島に行ったら、原爆ドームしか知りませんので、

他の場所について知りたいです。

どうして庭に埋まっていた三輪車がやけなかったのか

知りたくなりました。

今回のことで、自分たちは何ができるのだろうか？

と少し興味を持ちました。

募金や寄付など少し興味を持ちました。

初めに原爆投下により広島では14万人、長崎では7万4千人の人々が亡くなったり、被害に遭われたということを教えてくださいました。この話を受けた単に「多くの方が被害に遭われたんだな」と思うだけではこれからも同じような悲劇が繰り返されるのではないかなと思いました。なぜ原爆が投下されてしまったのか、また、なぜこんなにも多くの方が被害に遭わなければならなかったのか、私たちは経験していないからこそ少しでも多くの疑問を持つ必要があると思います。その答えを見つける過程が、過去を学ぶことであり、平和な未来を築いていくための1歩に繋がるのだと思いました。そして、私たちの身近にある神戸や姫路も空襲に遭ったということを知りました。度重なる空襲により神戸の街は一面焼け野原だったそうですが、そんな過去が想像できないほど今の街は綺麗で、空襲を受けた面影はどこにもないように思っていました。しかし、戦争があった過去を決して忘れないようにと「神戸空襲を記念する会」であったり、「神戸空襲の碑」などを通して空襲を経験していない私たちにとくさんのことを教えてくれていることが分かりました。また、小さい頃に見た「火垂るの墓」は神戸を舞台に描かれていたことを知りました。その当時は戦争のことについてあまり知らなかったですが「火垂るの墓」を初めて見たときの衝撃や恐怖は今でも忘れられません。戦争の残酷さが詰まっていた目を背けたくなるシーンも多くありました。小さな子が毎日食べるものがなく、死に近づいていることを感じながらも必死に生きようとする姿が可哀想でなりません。それは、私が何不自由なくご飯を食べられていること、生きていることに対して疑問が生まれるほどでした。それと同時にこの物語を通して今ある生活が当たり前ではないこと感謝すべきだということを感じ、光のように過ぎていく毎日の中でもこの事実を忘れず平和に対する意識を持ち続けることが大切だなと思いました。そして神戸と同じように姫路も空襲の被害を受けました。空襲が終わったあとも姫路城が残っていたことを知って驚きと感動を感じました。当時の人も姫路城だけが残っているのを見て感動だけでなく勇気も湧いたと話していて、姫路城が生き残ったことは当時の人達にとって大きな出来事だったということが分かりました。こうして空襲を体験した人だけでなく建物が残ることは、過去の出来事を証明することに繋がっているなと思いました。他にも多くの場所で戦争遺跡が残っていて、その一つである広島の平和記念館に今度の修学旅行で行きます。現実世界に起きたことをしっかりと目に焼き付け、そこで私たちが学べることを全部得て帰って来れるように目の前にあることに真剣に向き合っていきたいです。最後には世界でいま何が起きているかということでロシアとウクライナの戦争の紹介がありました。すでに1年7ヶ月の月日が経っているということに驚きました。戦争がいけないということを分かっているはずなのに、その間で多くの方が亡くなったり苦しんだりする姿をニュースで見えてきて、昔となりが変わったのだろうかと思いました。どんな理由があろうと戦争をしてはいけないことぐらい中学生でも分かるのにそれをしてしまう大人たちの考えが理解できません。今若者たちは過去の原爆投下について学び、命の尊さを学び、平和な世界をつくろうとしているのにそんな気持ちさえも踏みにじるような行動が信じられません。なんの罪もない人が無差別に殺されている今の状況が異常だということに早くロシア政府も気づいてほしいです。

三好さんの想いが詰まった授業を通して、過去を学ぶことの大切さや平和に向き合うことの大切さを感じました。

実際に原爆を体験された方の話を聞くことが出来るのは私たちの世代で最後かもしれません。「いま」私たちができることをよく考え、それを未来に繋げられるよう、視野を広げ生活していきたいなと思いました。

20230926振り返りと気付き

私が今回のお話を聞いて心に残った事が二つあります。

一つ目は、原爆被害者の数です。広島で14万人、長崎で7万4000人の合わせて約20万人以上の方がお亡くなりになりました。亡くなった方以外にも、怪我や火傷をされた人がこれ以上にいると思うと原爆は本当に恐ろしいものなんだと分かりました。家がなくなった、家族が居なくなった、友達が居なくなったなど体の怪我だけでなく、心の怪我を負った人もたくさんいると思います。修学旅行では、実際に被害を受けた広島へ行きます。今回聞いたお話を思い出しながら平和について勉強したいです、

二つ目は、第二次世界大戦による兵庫県の被害の大きさです。神戸や姫路がものすごい被害を受けたと知りました。神戸では3月11日の空襲で市の西半分が壊滅し、5月11日の空襲では東灘区の航空機工場が目標とされ、灘区、東灘区が今はなに不被害を受け、6月5日の空襲では西は垂水区から東は西宮まで広範囲に爆撃され、いままで残っていた東半分も壊滅したそうです。今はなに不自由なく暮らしているこの神戸の街も昔ぼろぼろだったんだと知ると、胸が痛いです。

昔はぼろぼろだった兵庫県も今はとても綺麗な姿になりました。この綺麗になった兵庫県で今後このような事が起こらないことを願いながら生きていきたいです。詳しくお話を聞いてよかったです。

20230926振り返りと気付き

私は、今回の話を聞いて戦争の印象が変わりました。

兵庫県は、姫路空襲や神戸空襲などたくさんの被害を受けていることを知りました。特に印象に残ったのは、神戸空襲で焼夷弾が使われ街一面焼け野原になった影響で8000人を超える市民が亡くなったことを知りびっくりしました。

兵庫県にも戦争遺跡がたくさんあり戦争の事を今も残されており、今後こういう事が起こらないよう語り継がれているんだなと思いました。

ジブリ映画「火垂るの墓」は、神戸市が舞台になっており4歳と14歳の兄弟が終戦前後の混乱の中必死に生き抜こうとする戦争の酷さ、現実がわかる作品なので今後戦争を伝える貴重な映画なのかなと思いました。私も一度観たことがあるけど、すごくリアルで戦争のことや、命の尊さがよく学べました。

このような戦争が二度と起こらないようにするにはどうしたら良いかや、戦争が人々にどのような影響をもたらしたのかを考える機会になったので良かったです。

20230926振り返りと気付き

今日、新聞記者の方の話を聞いて、戦争は怖いなど改めて思いました。小学生の修学旅行で長崎に行ったことがあります。まちが一気に吹き飛ばすほどの威力がある原爆のは本当に恐ろしいなと思いました。広島市も、一気に吹き飛ばんでも、今までの間にここまで綺麗になるように、原爆を忘れないようにさまざまな施設を建てたりしてきた人々がすごいなと思いました。悲惨な出来事があっても、ずっと引きずられるんじゃない、協力して助け合う心に胸を打たれました。今も、ロシアとウクライナが戦争していて、沢山の方が巻き込まれて亡くなってしまったり、避難してきたりしています。1年前くらいはニュースで毎回報道されていたのに、今はほとんどニュースで見なくなってしまいました。どうして戦争は無くならないのか、どうして人を殺してまでするのか、考えても分かりません。何万という命がなくなって、家族を失う人もいるというのに、戦争が続いてしまうのは悲しいなと思いました。今日本では戦争は怒らないけれど、他の国でも戦争が無くなる、平和な世界にいつかなってほしいなと思いました。今原爆が世界にいくつあるのか、これからいくつ戦争が起こってしまうのか、考えるだけで恐ろしいです。改めて戦争は、あってはならないものだなと感じました。

20230926振り返りと気付き

今日は、戦争についてのお話を聞きました。第二次世界大戦と兵庫の話をしてくださったのですが、私は第二次世界大戦のイメージは原爆投下が大きかったです、私たちが住んでいる兵庫にも大きな影響があったことを知りました。お話を聞いていた時に私の住んでいる地域の名前や、近くの地域の名前が出ていて、私たちが今立っている地もこの頃は焼け野原になって多くの犠牲者が出ていたことを知り、遣る瀬無い気持ちになりました。第二次世界大戦の戦争遺跡の写真で、焼け焦げた橋の写真を見て、過去に起こったこの悲惨な出来事により現実味を感じさせられました。なぜ沢山の死傷者を出し人々を苦しめたこの出来事を語り継いでいく方がいるのか、戦争当時の建物や物をそのままの形で残しているのかを改めて考えさせられました。悲しい過去でも世界平和の大切さを訴えるため、犠牲になった命を無駄にしないために戦争を体験したことがない私たちに伝えようとしている、そう思いました。そして、世界で今何が起きているかというお話もしていただきました。ロシアとウクライナの戦争が始まってもう1年7ヶ月という長い月日が経ちます。ですが戦争はいまだに終わっていません。なぜ多くの人を危険に晒してまで戦争を続けることができるのか理解ができません。これ以上命を無駄にしないためにも一刻も早く戦争が終わればいいなと思います。

そしてロシアは核兵器を所持しています。この戦争で核兵器を使う可能性もあることが一番恐ろしいなと思いました。第二次世界大戦で人類史上最大の死傷者を生んだと言われているにも関わらず、また同じことを繰り返そうとしていることに衝撃を受けました。どれだけ偉い人でも誰かの幸せな日常を奪うなんてことは絶対にあってはいけないことだと思います。

そして私たちはテレビやインターネットで戦争や核兵器などという言葉をよく目にします。だからと言って慣れてはいけないと思います。この前国語で取り扱った「挨拶 原爆の写真によせて」にも書いてあったとおり核を持った国がある限り何が起こるかはわからないということ、第二次世界大戦で一瞬にして当たり前を失った方々のように私たちの当たり前の日常がなくなることもあるかもしれないということを忘れてはいけないと思いました。

そして世界が平和に向かっていくためにも他人の痛みを共有し、自分ごととして考える。この言葉のように誰もが過去にどんなことが起きたのかどれだけの人が被害にあったのか、戦争を語り継いでくださった方々の想いを知り考えることができれば戦争をしようなんて誰も思わないだろうなと思いました。

修学旅行では実際に原爆が落とされた地に行きます。戦争について、平和についてもっと深く考える有意義な時間にしたいです。

20230926振り返りと気付き

原爆が落とされてから78年と今一度考えてみるとつい最近の出来事で、
今でも戦争や内戦で沢山の尊い命が失われている世界だっただけのは理解してました。
しかし私は自分はまだ子供だ、自分には関係ないと他人事にして
今が当たり前では無い事を意識していませんでした。

しかし、今回の授業を通して相手の立場になって想像をしてみてから体の力が抜けませんでした。
ついさっきまで親と手を繋いでいて周りは店々で賑やかに立っていたのに、5秒も経たないうちに
親が目の前で撃ち抜かれ、周りは火と血で溢れ返り、叫び声と泣き声が止まない。
そんな体験をした事なくても、どれだけの辛い事が想像出来ます。
戦争は怖いって教えるだけでは人は簡単に傷つけあう。だからこそ
戦争はしてはいけないって事をよく知り、思い、伝える必要がある事。
今回を通して戦争をしてはいけない事だって伝える思いが強くなりました。
本当にありがとうございました